

9 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	山口	参加 メンバー	CL 館谷 鈴木(美)、小松、吉田(浩)、田中、山口
		報告日	24/9/12		
山域	鈴鹿	山行日	24/9/7		
山名	元越谷				
山行目的	沢登り	コースタイム(天候:天気図記号)			

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
集会:12	
山行:1 リーダー	
原紙:集 会担当者	

ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

8:30 駐車場着
8:50 登山開始
9:10 入渓
12:00 脱渓
13:30 下山

--

〈山行報告〉

例会当日は雲がほぼ無く、気温も高かったため、沢登り日和な天気となった。予定通りの時刻に登山口駐車場に到着。

今回は沢登りの未経験者や経験の浅いメンバーが多かったため、登山開始前に館谷リーダーによる装備チェックを実施。一通りの準備を整えてから登山を開始した。

入渓ポイントに到着し、沢へ入っていく。特に難所もなく、各々沢を楽しみながら登っていき、元越大滝に到着。

何度かこの滝には来ているが、これまでで一番水量が多かったように思う。

ここで大滝の側壁を登るための装備の使い方を練習(アッセンダー等)。各自の練習が完了し、登攀を開始。館谷CLがリード、山口がビレイ、残りのメンバーがアッセンダーで登る。館谷CLと山口のやり取りは事前に準備していた無線を利用した。滝の音が大きいので、やはり沢登りでは無線はあったほうが良いと改めて感じた。全員無事に大滝の側壁を登り、登攀完了。

その後はちょうどよい小滝が連続し、沢登りも楽しさを増す。慣れてきたメンバーも敢えて水流を直登するなど、沢登りを楽しいでいる様子が伺えた。

そうこうしているうちに、脱渓ポイントに到着し、沢登り終了。帰りは林道を歩き下山。ここで1名ヒルにやられたようである(下山後に気づく)。また、帰宅後にヒルの被害にあったことが分かるメンバーもいた。

難所が少なく、綺麗な沢の景色を楽しめる、初心者向きの沢登りとしてちょうどよい山行であった。

確認 (リーダー)	館谷
	24.09.10
作成 (報告者)	山口
	24.09.10

〈リーダー所見〉

9月例会は沢登り企画ということで、例会としては4年ぶりに鈴鹿・元越谷へ。序盤は堰堤が多くやや退屈ですが、大滝以降はちょうどいい登り・へつり・泳ぎなどを楽しめました。今回初心者が多かったのですが、来年はスキルアップして更に楽しい沢へ行きましょう。





